

発 言 通 告 表 （ 一 般 質 問 ）

令和 7 年 6 月 定例会

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨
1	望月 徹（11）	1. 富士市立高校及び県立高校の再編を伴う、在り方について 本年 3 月、第 4 回県立高等学校の在り方に係る地域協議会（富士地区）において、富士市と富士宮市にある公立 9 校を 2033 年度までに 5 校に集約する再編成案が示され、この 7 月に第 5 回の同協議会において、グランドデザインが示される予定と聞いております。 富士市立高校及び地元民が通う県立高校の在り方について、以下質問いたします。 (1) 少子化に対応した再編の動きに対し、富士市立高校のあるべき姿をどのように描き、どのように対処していくのか伺います。 (2) 地元企業は、専門性の高い学びのできる工業系の学科があることを望んでいます。少子化が進む中で、工業系の学科を存続させたいと考えるが、その手法と方策について、当局の見解を伺います。 (3) 少子化のスピードに対する再編の動きが遅いと考えるが、当局の見解を伺います。 2. 少子化の中、保育園・幼稚園・こども園などの在り方について 本市は、平成 30 年 3 月に持続可能な都市経営の実現に向けた公立教育・保育施設の再配置に係る基本的な考え方を定めた富士市公立教育・保育施設再配置計画（以下、「再配置計画」という。）を策定し、この再配置計画を基に平成 31 年 3 月各圏域における再配置の対象施設及び実施すべき事業を定めた富士市公立教育・保育施設再配置計画個別計画を策定しました。 令和 4 年 2 月、富士市公立保育施設民営化ガイドラインを策定し、公立保育園の民間移管事業について、令和 9 年度までの全体スケジュールを作成し、移管先法人の選定や引継ぎ、共同保育などを実施してきました。 現在、この再配置計画策定時に比べ圧倒的な少子化傾向にあり、ガイドラインを大幅に見直す必要があると考え、以下質問いたします。 (1) 全体スケジュールの中で、現在の進捗状況を伺います。 (2) 運営面から今以上に統廃合、民間移管、複合化及び多機能化を推し進める必要があると考えるが、当局の見解を伺います。 (3) 持続可能な民間施設の維持運営に向け、当局の取組について伺います。